

平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年1月31日

上場会社名 株式会社日本エム・ディ・エム 上場取引所 東  
 コード番号 7600 URL <http://www.jmdm.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 正男  
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 棟近 信司 (TEL) 03-3341-6705  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日~平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	10,645	7.5	1,517	3.0	1,468	9.6	973	15.1
29年3月期第3四半期	9,901	4.5	1,472	21.0	1,340	23.7	845	30.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 999百万円(△0.9%) 29年3月期第3四半期 1,008百万円(52.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	36.87	—
29年3月期第3四半期	32.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	20,894	13,104	62.6
29年3月期	21,537	12,288	57.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 13,077百万円 29年3月期 12,267百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
30年3月期	—	0.00	—		
30年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,800	8.6	2,200	15.2	2,100	20.2	1,300	15.0	49.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	26,475,880株	29年3月期	26,475,880株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	74,476株	29年3月期	77,107株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	26,400,121株	29年3月期3Q	26,436,247株

(注) 役員向け株式交付信託が保有する当社株式が、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
販売実績	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当企業集団の当第3四半期連結累計期間における売上高は10,645百万円(前年同四半期比743百万円増、同7.5%増)、営業利益1,517百万円(前年同四半期比44百万円増、同3.0%増)、経常利益1,468百万円(前年同四半期比128百万円増、同9.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益973百万円(前年同四半期比127百万円増、同15.1%増)となりました。

売上高は、日本国内において平成29年1月と4月に償還価格の引下げが行われましたが、米国子会社Ortho Development Corporation(以下「ODEV社」)製製品の売上が堅調に推移したことから、前年同四半期比4.8%増の6,850百万円と伸張しました。米国においても人工関節製品の売上が堅調に推移し、外部顧客への売上高はUSドルでは前年同四半期比8.9%増、また円安の影響を受け円換算後は前年同四半期比12.7%増の3,795百万円となりました。

人工関節分野は、日本においてODEV社製人工股関節製品「Alpine セメントドヒップシステム」や「オペーションヒップシステム」の売上が堅調に推移したこと、米国において「BKS TriMax」等の売上が堅調に推移したことにより、日本国内及び米国の売上高合計は前年同四半期比7.3%増(日本国内0.5%増、米国13.9%増)の6,984百万円と伸張しました。

骨接合材料分野は、「ARISTO ネイルシステム」や「MDMプリマヒップスクリーシステム」の売上が順調に推移し、日本国内の売上高は前年同四半期比4.2%増の2,197百万円と伸張しました。

脊椎固定器具分野は、「IBIS スパイナルシステム」の売上が順調に推移し、日本国内及び米国の売上高合計が前年同四半期比5.8%増(日本国内9.4%増、米国34.6%減)の1,123百万円と伸張しました。

売上原価率は、円安の影響・償還価格の引下げにもかかわらず、製造原価の低減効果及び自社製品売上高比率が89.2%(前年同四半期は87.5%)に上昇したことにより、27.6%(前年同四半期は27.8%)と改善しました。

販売費及び一般管理費(合計)は、日本国内及び米国共に、販売力増強の為の人員を増やしたことにより給料及び手当が増加したこと、前年第3四半期以降に新製品及び既存製品の拡販を目的とし医療工具の貸出を増やしたことにより減価償却費が増加したこと、米国における販売が増加したことにより支払手数料が増加したこと、及び、円安に伴い米国における販売費及び一般管理費の円換算額が増加したこと等により、前年同四半期比9.2%増の6,192百万円となり、売上高販管費率も58.2%(前年同四半期は57.3%)となりました。

営業利益は、販売費及び一般管理費の増加にもかかわらず、売上高の伸張により、1,517百万円(前年同四半期比3.0%増)となりました。

経常利益は、営業外収益として、為替差益47百万円など59百万円を計上し、営業外費用として、支払利息93百万円など107百万円を計上した結果、1,468百万円(前年同四半期比9.6%増)となりました。

特別損益は、医療工具などの固定資産除却損33百万円を特別損失として計上しました。

その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2017年12月22日付米国連邦法人税の税率引下げを受け、繰延税金資産・負債の再評価を行った結果、973百万円(前年同四半期比15.1%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ①日本

売上高は6,850百万円(前年同四半期比4.8%増)、営業利益は721百万円(前年同四半期比1.5%減)となりました。

## ②米国

売上高は6,170百万円(前年同四半期比16.7%増)、営業利益は778百万円(前年同四半期比44.6%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ642百万円減少し、20,894百万円となりました。主な減少は、現金及び預金645百万円であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ1,459百万円減少し、7,790百万円となりました。主な減少は、短期借入金540百万円、長期借入金557百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ816百万円増加し、13,104百万円となりました。主な増加は、利益剰余金788百万円であります。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は62.6%(前連結会計年度末は57.0%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月28日に開示いたしました当期における通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,793,079	2,147,721
受取手形及び売掛金	3,963,937	4,148,348
商品及び製品	5,407,669	5,282,619
仕掛品	180,851	264,662
原材料及び貯蔵品	1,120,266	933,757
繰延税金資産	390,090	412,212
その他	161,056	128,080
貸倒引当金	△10,822	△10,838
流動資産合計	14,006,129	13,306,563
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	651,449	703,907
機械装置及び運搬具(純額)	247,772	213,897
工具、器具及び備品(純額)	3,781,720	3,809,391
土地	2,160,270	2,160,483
その他	26,144	42,846
有形固定資産合計	6,867,358	6,930,525
無形固定資産	102,174	96,852
投資その他の資産		
繰延税金資産	489,772	484,364
その他	72,143	76,423
貸倒引当金	△15	△12
投資その他の資産合計	561,900	560,775
固定資産合計	7,531,433	7,588,153
資産合計	21,537,563	20,894,717

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	578,512	482,036
短期借入金	4,535,982	3,995,022
リース債務	94,344	83,085
未払法人税等	143,964	324,064
未払費用	282,557	370,860
未払金	178,933	166,827
割賦未払金	247,436	125,580
賞与引当金	179,664	35,767
役員賞与引当金	60,972	34,948
その他	211,225	23,149
流動負債合計	6,513,592	5,641,341
固定負債		
長期借入金	1,403,672	846,098
リース債務	194,413	134,972
退職給付に係る負債	743,154	771,302
役員株式給付引当金	15,808	22,726
資産除去債務	26,675	26,523
長期末払金	420	—
長期割賦未払金	112,032	49,003
長期預り金	3,500	5,500
繰延税金負債	236,000	292,684
固定負債合計	2,735,676	2,148,810
負債合計	9,249,269	7,790,151
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,001,929	3,001,929
資本剰余金	2,587,029	2,587,029
利益剰余金	6,365,607	7,153,799
自己株式	△78,289	△76,205
株主資本合計	11,876,276	12,666,552
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	18,500	11,103
為替換算調整勘定	478,776	493,313
退職給付に係る調整累計額	△105,622	△93,505
その他の包括利益累計額合計	391,655	410,911
非支配株主持分	20,361	27,101
純資産合計	12,288,293	13,104,565
負債純資産合計	21,537,563	20,894,717

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	9,901,690	10,645,361
売上原価	2,756,182	2,935,390
売上総利益	7,145,507	7,709,971
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	173,481	209,397
販売促進費	176,472	157,675
広告宣伝費	48,035	58,065
給料及び手当	1,812,925	1,962,232
退職給付費用	57,896	61,044
法定福利費	176,382	183,634
福利厚生費	104,477	108,322
貸倒引当金繰入額	△583	12
旅費及び交通費	213,144	244,401
減価償却費	606,616	666,891
租税公課	99,621	86,843
研究開発費	345,698	348,585
支払手数料	1,068,964	1,243,749
その他	789,620	861,976
販売費及び一般管理費合計	5,672,754	6,192,831
営業利益	1,472,753	1,517,140
営業外収益		
受取利息	176	181
受取手数料	1,753	8,532
為替差益	—	47,752
その他	2,396	3,097
営業外収益合計	4,326	59,563
営業外費用		
支払利息	86,843	93,809
手形売却損	854	—
為替差損	32,727	—
シンジケートローン手数料	8,779	9,755
その他	7,447	4,365
営業外費用合計	136,652	107,930
経常利益	1,340,427	1,468,773
特別損失		
固定資産除却損	51,264	33,271
特別損失合計	51,264	33,271
税金等調整前四半期純利益	1,289,162	1,435,501
法人税、住民税及び事業税	347,009	420,592
法人税等調整額	97,977	35,006
法人税等合計	444,987	455,598
四半期純利益	844,175	979,903
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,657	6,482
親会社株主に帰属する四半期純利益	845,833	973,420

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	844,175	979,903
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	84,097	△7,396
為替換算調整勘定	68,526	14,793
退職給付に係る調整額	11,316	12,116
その他の包括利益合計	163,940	19,513
四半期包括利益	1,008,116	999,416
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,009,774	992,677
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,657	6,739



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,533,693	3,367,996	9,901,690	—	9,901,690
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,918,623	1,918,623	△1,918,623	—
計	6,533,693	5,286,620	11,820,313	△1,918,623	9,901,690
セグメント利益	732,845	538,523	1,271,368	201,384	1,472,753

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去201,384千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,850,346	3,795,015	10,645,361	—	10,645,361
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,375,311	2,375,311	△2,375,311	—
計	6,850,346	6,170,326	13,020,673	△2,375,311	10,645,361
セグメント利益	721,730	778,818	1,500,548	16,591	1,517,140

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去16,591千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. その他

## 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称及び品目		当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	前年同四半期比
		金額(千円)	(%)
医療機器類	日本	6,850,346	104.8
	人工関節	3,245,598	100.5
	骨接合材料	2,197,361	104.2
	脊椎固定器具	1,067,539	109.4
	人工骨	140,378	175.7
	その他	199,468	142.5
	米国	3,795,015	112.7
	人工関節	3,738,903	113.9
	脊椎固定器具	56,111	65.4
合計		10,645,361	107.5

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。また、上記金額に、消費税等は含まれておりません。